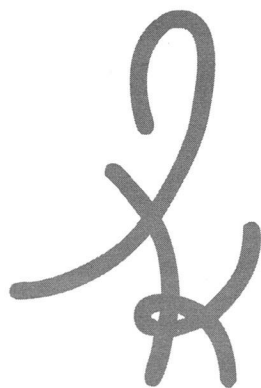
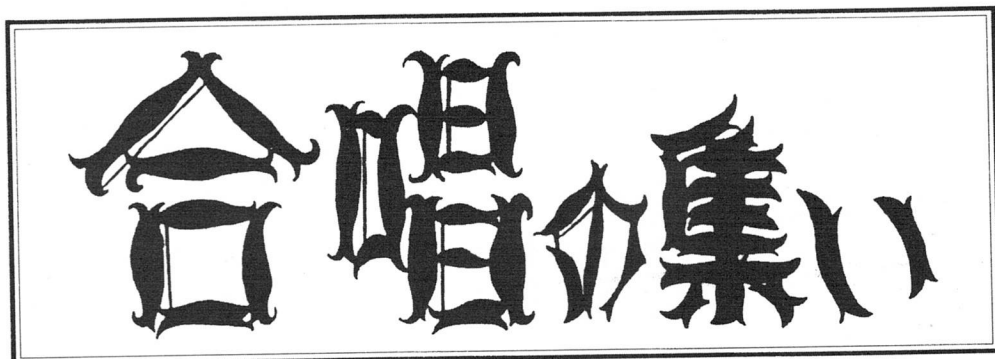


市制70周年 市川市芸術祭・文化祭

第309回市響



平成16年10月24日
2時開演
市川市文化会館大ホール

主催 市川市・市川交響楽団協会

プログラム

市川混声合唱団

混声合唱とピアノのための「花に寄せて」より

- | | | |
|--------------|---------|---------|
| 1. たんぽぽ | 星野 富弘 詩 | 新実 徳英 曲 |
| 2. ねこじゃらし | | |
| 3. しおん | | |
| 4. てっせん・どくだみ | | |
| 7. ばら・きく・なずな | | |

指揮 山崎 滋
ピアノ 鈴木 珠美

市川市立大野小学校合唱部

- | | | | |
|---------------------|-------------|---------------|--------------------------|
| 1. 天使と羊飼ひ | 大熊 進子 訳詩 | ゾルターン・コダーイ 作曲 | 指導 ^{アツコ} 久保 淳子 |
| 2. この星に生まれて | 坂本 龍一 作詞・作曲 | | ピアノ 西倉あやめ |
| 3. 怪獣のバラード | 岡田富美子 作詞 | 東海林 修 作曲 | |
| 4. 四季のソネットより
「冬」 | 伊藤 良一 作詞 | 内田 勝人 作曲 | ピアノ ^{ユウカ} 坂田 裕香 |

行徳混声合唱団

混声合唱のための組曲「海」より

- | | | |
|----------|---------|--------|
| 夜明け | 尾崎左永子 詩 | 佐藤 眞 曲 |
| ひまわりの母 | | |
| 海のマーチ | | |
| うみのこもりうた | | |

指揮 山崎 滋
ピアノ 鈴木 珠美

市川市立福栄中学校合唱部

- | | | | |
|------------|----------|-----------|----------|
| 1. 勇気をください | 松井 孝夫 詞 | 松井 孝夫 曲 | 指導 村西いづみ |
| 2. 秋の歌 | K.クリンゲマン | メンデルスゾーン曲 | 吉田 秀和 訳詩 |
| 3. ふるさと | 高野 辰之 詞 | 岡野 貞一 曲 | |

休憩

Missa in C
(Krönungs messe)

戴冠ミサ

W. A. モーツァルト 作曲

指揮	山崎 滋	管弦楽	市川交響楽団
ソプラノ	杉本恵津子	アルト	小倉 牧子
テノール	新津 耕平	バス	松平 敬
合唱	市川混声合唱団・行徳混声合唱団		

Kyrie	キリエ	憐れみの讃歌
Gloria	グローリア	光の讃歌
Credo	クレード	信仰宣言
Sanctus	サンクトゥス	感謝の讃歌
Benedictus	ベネディクトゥス	祝福の讃歌
Agnus Dei	アーニユス デーイ	平和の讃歌

全員合唱 里の秋

ご挨拶



皆様 本日は、私共の「合唱の集い」に御来場いただき誠に有難うございます。この催しは市川交響楽団協会所属の姉妹合唱団、市川混声合唱団と行徳混声合唱団による合同定期演奏会でございます。今回は、市内優秀校の大野小学校、福栄中学校合唱部の皆さんのステージも行います。

メインは仲間である市川交響楽団との共演でモーツァルトの「戴冠ミサ」を演奏致します。

尚、指揮の山崎滋先生には、合唱の他に、市響ジュニアオーケストラの常任指揮者としても御指導いただいております。

来年は、市川混声55周年、行徳混声25周年の節目を迎えます。この歴史の刻印も、皆様のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。今後とも、地域文化に少しでも役立つ様、精進致す所存です。一層のご支援何卒宜しくお願い申し上げます。

よこ た けい お
市川交響楽団協会理事長 **横田 行雄**

プロフィール



指揮 やま さき しげる 山崎 滋

東京生まれ。東京芸術大学指揮科にて、指揮を金子登・佐藤功太郎両氏に師事、またピアノを村山信子・竹尾聡子、ヴァイオリンを山岡耕祐、スコアリーディングをH=ピュイグ・ロジェ、チェンバロをD. ヘルマン各氏に師事。在学中より二期会オペラの合唱・副指揮者として活動を始め、小澤征爾・若杉弘氏等のアシスタントを数多く努めるほかオペラ研究生スタジオの講師として後進の指導にもあたる。日本合唱協会第104回定期演奏会「フランス音楽の夕べ」でデビュー。バロック音楽にも造詣が深くマタイ研究会管弦楽団・同合唱団を指揮したバッハ

「マタイ受難曲」全曲のCDが1992年に発売され好評を博した。新国立劇場(オペラハウス)の開場に伴いバイロイト音楽祭に派遣され、N. パラッチュ氏に師事。同劇場の開場記念公演「ローエングリン」では同氏のアシスタントを務める。2000年より新国立劇場の専属となり、オペラを中心に活動の巾を広げている。日本指揮者協会会員。



ソプラノ すぎ もと えつ こ 杉本 恵津子

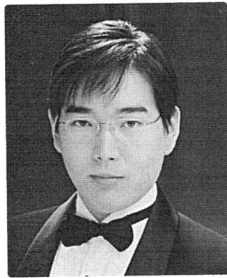
国立音楽大学声楽科卒。オペラ「カルメン」フラスキータ役、組曲「走進中国」、「スタバトマーテル」、などのソリストをつとめる。中国南京師範大学音楽院において日本歌曲の模範演奏を行い、今秋にはニューヨークのリンカーンセンターにてソリストとして出演予定。国内では作曲家青島広志氏構成の「日本歌曲の流れ」に連続出演。また、BS 日テレ「日本・こころの歌」に出演中。

第5回長江杯国際音楽コンクール声楽部門第3位入賞、第16回市川市文化会館オーディション最優秀受賞などに入賞。



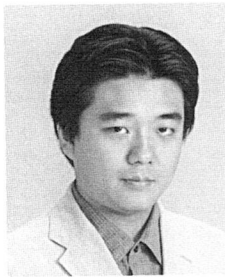
メゾソプラノ おぐら まきこ 小倉 牧子

千葉県成田市出身。私立成田高等学校ならびに東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。現在同大学院オペラ科修士課程2年に在籍。声楽を加宮葵、高橋大海、伊原直子の各氏に師事。市川文化会館主催、第14回新人演奏会、声楽の部最優秀賞。平成15年同声会賞受賞ならびに同新人演奏会出演。第57回全日本学生音楽コンクール東京大会奨励賞。これまでに、モーツァルトのオペラ コジファントゥッテ(ドラベッラ) 魔笛(侍女)、フィガロの結婚(マルチェリーナ)などを演じ、又、アルトソリストとして「東総の第九2000」他等に出演。11月には、佐倉市民音楽ホールにて青島広志作曲オペラ「龍の雨」のリウ役で出演予定である。



テノール にいっ こう へい 新津 耕平

東京都中野区出身。東京芸術大学音楽学部卒業。現在、同大学大学院在学中。声楽を小川裕二、高橋大海、高丈二の各氏に師事。これまでに「こうもり」「トゥーランドット」等に出演。



バス まつ だいら たかし 松平 敬

東京芸術大学卒業。同大学大学院修了。教会音楽のソリストとして多くの作品を歌う傍ら、クセナキス作曲「オレスティア」完全全曲版日本初演の参加など、前衛音楽の演奏にも積極的に取り組む。2000～2004年にはドイツに於けるシュトックハウゼン講習会へ参加。2001年、2003年には同講習会のコンサートに出演する。今春、東京において全曲前衛作品ばかりによるリサイタルを開催し「音楽の友」誌上などで高く評価される。現在、聖徳大学非常勤講師。



ピアノ すず き あけ み 鈴木 珠美

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピアノを故クロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に、指揮を高階正光氏に師事。国立音大同調会千葉県支部コンサート、市川市文化会館にて新人演奏。家永音楽事務所ピアノオーディション合格。サントリー小ホール、津田ホールでのジョイントリサイタルではスクリャービン、ラフマニノフ、リストの作品を演奏し、講評を博す。市川交響楽団とはモーツァルト「ピアノ協奏曲第21番」、グリーグ「ピアノ協奏曲」のソリストとして、ストラヴィンスキー「ペトルーシュカ」(1947年版)のピアノ担当等、多数共演している。

故村上正治先生指導の頃より、市混・行混の伴奏者を務める。R. フリーダー氏(ウィーンフィル首席チェリスト)はじめ、声楽・器楽とのアンサンブル分野でも活動している。

曲目紹介・ほか

☆市川混声合唱団 — 「花に寄せて」を想う。

身体を自由を失ったことで、絵を描くこと、詩を創ることに情熱を傾けるようになった星野さん。しかし、花に寄せる星野さんのやさしさや、花を透視し、それを文字に表す能力は、障害に関係なくご本人が神から授かった天賦のものであり、たまたま障害を契機として、他の能力が後退した間に、前面に押し出されて来た。そしてその中の数篇を選んで曲をつけられた新実さん。

詩の選び方も、曲の流れも、作詩者の心を適格に掴み、表現している。私達はこのお二人の偉業に少しでも近づけるようにと願い唱う。

☆市川市立大野小学校合唱部

大野小学校合唱部は、歌の大好きな仲間が集まっています。現在男子ひとりを含む約40人で活動しています。先生のひょうきん病が移ってしまった人もいて、練習中も笑いが耐えません。

コンクールに挑戦したり、いろいろな音楽会での演奏のための練習、本番を通して、すてきなハーモニーの快感を日々味わっています。今日は、わたしたちの大好きな曲を合唱します。

お聴き苦しいところもあると思いますが、精一杯歌います。どうぞお楽しみください。

☆行徳混声合唱団 — 混声合唱のための組曲「海」

水平線に太陽が顔を出し、一筋の光が矢のように走る。海が目覚まし、波がきらめき踊る。そして、海は母の思い出と重なる。幼い子どもを優しく抱きしめ、戦争を耐え忍び、苦しくても決して微笑みを絶やすことがなかった母。温かくて、しかし芯の強いお母さん。この曲は私たち人間の原風景を思い起こさせてくれる。時には優しく、時には頼もしく歌う女声を、テナーとベースががっちりと支えます。やがて、夜、海原を吹き渡る風が子守唄となる。人も、海も、再び眠りにつくのです。明日を夢見て。

☆市川市立福栄中学校合唱部

私達の中学校は市川市の行徳地区にあり、まわりはマンションなどの建物に囲まれています。学校は、今年は創立から26年目で、合唱部も十数年前から活動が行われています。今年は部員数が少ないのですが、自分達で声を掛け合い、練習しています。練習を積んで、心のこもった美しい合唱をしていきたいと考えています。

今日はこの様な大きな舞台で歌うことが出来て嬉しいです。緊張はありますが、私達なりに精一杯の歌声を響かせたいです。どうぞお聴き下さい。

キリエ

主よ、憐れんでください。キリストよ、憐れんでください。

グローリア

天のいと高きところには神に栄光があり、
地上では善意の人々に平安がありますように。
私達は主をほめ、たたえ、おがみ、あがめます。
主の大いなる栄光ゆえに、感謝をささげます。
主である神、天の王、全能の父である神よ。
主なる独り子 イエス・キリストよ。
主である神、神の子羊、御父のみ子よ。
世の罪をとり除かれるお方よ
私達を憐れんでください。
私達の願いを聞いてください。
御父の右に座られる主よ、私達を憐れんでください。
あなただけが神聖で あなただけが主です。
あなただけが至高の方です。 イエス・キリストよ
あなたは聖霊とともに
父である神の栄光の中におられるのです。 アーメン

クレード

私は唯一の神を信じます。 全能の父、天と地と、すべての見えるものと見えない
ものとの創り主。唯一の主イエス・キリスト、神の独り子。
主はこの世の前に御父から生まれ、神からの神、光からの光、まことの神からの
まことの神、創られることなくお生まれになり、御父と一体であり、すべては主により
創られました。
その方は私たち人間のために、私たち救いのために、天から降りてこられ、聖霊により
処女マリアより身体を受けられ 人間とされました。
そして、私たちのために十字架に掛けられ ポンツィオ・ピラートのもとで苦しみを
受けられて葬られ、
聖書にあるとおり、三日目に蘇られ天に昇り 御父の右に座られました。
主は栄光のうちに再びこられ、生ける者と死す者を裁かれます。
主の王国に終りはないでしょう。
また私は主であり、生命を与えられる聖霊を信じます
それは御父と御子から発し、御父と御子と同じように崇められて栄光を受け、預言者を
通じて語られました。
また私は唯一の聖なる教会を信じます。罪人を許すための唯一の洗礼を信じます。
また私は、死者の復活と来世の生命を予期しています。 アーメン

サンクトゥス／ベネディクトゥス

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍を率いる主である神。
天と地はあなたの栄光に満ちています。天のいと高きところに オザンナ。
主の御名により来られた方が祝福されますように。
天のいと高きところに オザンナ。

アーニユス・デーイ

世の罪を取り除かれる神の子羊である御方よ、
私達を憐れんでください。
私達に平安を与えてください。

本日の出演者

市川交響楽団

コンサートマスター 立田 祥子

ヴァイオリンⅠ 奥本二美恵 亀井 玲子 鈴木 薫 戸川 悠 横田富美子	ヴァイオリンⅡ 上原 剛介 上原佐貴絵 鎌田 真貴 垂水 志帆 根守 弘和	チェロ 福原 耕二 小松 高明 倉澤 倫子	コントラバス 小西 祐作 小林 真弓	オーボエ 本間 広樹 二村 直子
ファゴット 菅原 齊 遠藤由紀子	ホルン 山内 正晴 潮見 恵子	トランペット 吹田 容子 西岡 宏	トロンボーン 藪崎 裕至 宮坂 郁 坂田 圭	ティンパニ 都筑 裕

市川混声合唱団

ソプラノ 阿部美由紀 蚊野 侑子 前原 敏子	安斉 悦子 桑村 和子 山本 桂子	石黒 淳子 小久保陽子 渡辺亜紀子	岩佐 敦子 塚本 恵子	大坂 正美 中野 かよ
アルト 大塚美千代 高橋 圓 西井 玲子	大村麻奈未 立原 未緒 服部真知子	小松崎幸子 田辺 育	篠田 妙子 富山 清子	白取 博子 内藤富士子
テノール 井関 裕義	岡田光太郎	金田 輝夫	桑原 馨男	篠田 要衛
バス 大辻 康允	樋口 進	平野 迪彦	渡辺 功一	

行徳混声合唱団

ソプラノ 阿部都志子 徳永 京子 古谷ヤス子	川又 京子 中西 双葉 松本 孝子	渋谷 祥子 中村 聡子 村山 典子	杉浦みゆき 橋本 晴美 横野セキヤ	辻本 富子 林 紀世美
アルト 安藤 照子 対田志野子	石井 淑子 永野 幸子	伊藤 和子 野瀬富美子	金島 優子 藤井 礼子	佐藤 和子
テノール 加藤 芳明	武田 矩彦	藤田 正樹	古畑 功	
ベース 石井 省二	神田 春彦	佐藤 正義	中川 保典	